

人権だより

壬生町立藤井小学校

令和6年1月10日

冬の寒さも本格的になり、春の暖かさが待ち遠しい季節になりました。今年度も残り3か月となり、毎日を大切にしていきたい思いです。子供たちは新年を迎え、今年目標をたてました。「友達と仲良く過ごしたい」という目当ても見られ、心温まる思いがします。

子供たちがお互いに仲良く学校生活を送るためにも、人権教育は大切なものとなります。昨年12月に「人権週間」ということで、子供たちが人権について考え、人権意識を育むという取り組みを行いました。子供たちはこれまでの生活を振り返り、これからの行動について深く考える姿が見られました。

世の中に現存する差別について学ぶことも大切ですが、子供たちにとって身近に人権について考える機会は「いじめ」についての学習です。文部科学省でも、平成25年度に「いじめ防止対策推進法」を定め、いじめの防止についての取り組みを行い、学校現場でも実践されてきました。これを受けて、今年の「人権週間」も「いじめについて考える」ことを中心に取り組んできました。

《人権集会》12月8日に全校児童が体育館に集まり、人権集会を開きました。

○校長先生の講話より

『人を傷つけるのは、やめましょう。』

◇「心」という文字に10本の「とげ」がささると・・・「悲」という文字になってしまいます。他の人に「とげ」のある行動をしたり、「とげ」のある言葉を投げかけたりしていないでしょうか。温かい言動を心掛けましょう。

◇藤井小の合い言葉「ふるさとを愛し 自分も相手も大切にし 意欲的に取り組む」の「相手も大切にし」は、「相手を思いやり、大切にし、仲良くする」ということを表しています。それをみんなで心掛けていきましょう。

○児童による作文の発表

代表として、2年生の代表児童が、夏休みに書いた読書感想文を発表してくれました。



《人権についての授業》

各クラスで、「いじめ」についての動画を視聴し、「いじめをしないためには」「いじめを発見したときどうすべきか」などについて考えました。また、人権作文をまとめた文集を担当が範読し、差別についても考えていきました。

以下に、授業を行った後に書いた子供達の記述を抜粋し、まとめました。

- ・私は今、たくさんの人と遊んでいます。みんな心がやさしいです。言い合いになってしまうこともあるけれど、仲直りできるととてもよかったです。
- ・(主人公の人は)最初はいじめられていたけど、最後は仲良くなれたのでよかったです。私は仲良しになったので良かったと思います。

- (主人公の人が) あだなでよばれていてかわいそうでした。私なら手紙を書かずに、お母さんやお父さんに言おうと思います。
- 友達が泣いていたらタオルをかしてあげたいです。困り事があったら聞いてあげたいです。なんか悲しいことがあったら助けてあげたいです。
- もっと友達のことを大切にしていきたいし、自分のことも大切にしていきたい。いやなことがあったら、そのことをがまんしないで、友達に相談したいです。
- 自分がいやだなあとと思ったら、いやって言った方がいいんだなあと思いました。
- いじめはよくないことが分かった。だれにでもやさしくしたい。人に注意することは、とっても勇気のいることだと思った。
- いじめは本当にいけない。絶対やっちゃだめだということが分かりました。もしだれかがいじめをしていたら、注意するか、先生に報告しようと思いました。
- 命は本当に大切なんだなあと思いました。もし、友達がいじめられていたり、いじめていたら、注意して、本当にだめなことを知らせてあげたいです。
- 周りの意見に流されず、自分の意見を大切にすべきだということが分かりました。
- あだ名で呼ぶのはだめだと思いました。(主人公の人が) いやだということを最後に勇気を出して自分で言えたのがすごいなあと思いました。友達やお兄ちゃんにかかる気持ちで暴言を言うのはやめようと思いました。
- 一人一人理由がちゃんとあるのに、ばかにするのはいけないことだと思いました。
- 生まれた時から、病気を持っている人もいるし、人は生まれつき違うのだから、人ををばかにしないということも人権を守ることなのだと思いました。
- 命の大切さやいじめを絶対にしてはいけないということがよく分かりました。いじめを見ているだけの方も、いじめをしている方も、どちらも悪いので、いじめを見かけたら、勇気を出して言えるようになりたいなあと思いました。
- いじめをしてはいけない意味やいじめを見たら、勇気を出して注意することの大切さが分かりました。なぜなら、注意しないといじめが終わらないし、どんどんエスカレートしていってしまうからです。

* 子供たちはそれぞれに「人権」そして「いじめ」について考え、どうすべきかについて学んでいました。これから、お子さんの心がよりよく育っていくために、御家庭でも「人権」や「いじめ」について考え、話し合っていたいただきたいと思います。

学校でも道徳を中心に、学校生活全体を通して、指導を続けていきたいと思います。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。